

大好き! ふくしま



矢祭町で生み出された新品種のラズベリーは、丈夫で収穫期が長いことが特徴です。そのため多くの収穫量が望める強みがあります。



イベントではラズベリーの冷凍品や加工品をはじめ、矢祭町の特産品を販売しています

新品種の矢祭産ラズベリーで 生産量日本一を目指したい!

富岡町で生まれ育った大和田さんは、原発事故の避難により高校から大学までを都内で過ごしました。大学のサークル活動を通して海外のさまざまな文化に触れる中で農業に関心を持つようになりました。農業に携われる就職先を探中、矢祭町で本格的にラズベリー栽培を始めるとい話を聞き、協力隊に応募しました。

現在はラズベリーの栽培やイベント出展などを行っています。「農業の知識は全くありませんでしたが、地域の方がとても親切に教えてくれました。町を良くしたいという方が多いので感化されますし、矢祭町は自然豊かで過ごしやすいたところが魅力です」と話す大和田さん。協力隊の任期終了後は、起業してラズベリーのさらなる可能性を模索していきたいと語る大和田さんの爽やかな笑顔は、太陽の恵みをたっぷり受けたラズベリーのように輝いていました。



矢祭町の土地や気候に合わせて開発された2品種を栽培しています



矢祭町自慢のラズベリーをぜひ食べてください

矢祭町地域おこし協力隊
おおわた たつや
大和田 達也さん
(富岡町出身)



日本一達成記念パネルの除幕式を開催しました

福島県のお酒が、全国新酒鑑評会で金賞受賞数8回連続日本一という、偉業を達成しました。どのお酒も、地域や蔵ごとの個性にあふれ、大変味わい深く、それらを飲み比べて楽しめるという贅沢。これは福島ならではの魅力だと思えます。これからも、国内外の多くの方々に福島のお酒をおいしく笑顔で味わっていただけるよう全力でPRしていきます。

福島県の蔵元の皆さんが偉業を成し遂げました。

知事の活動を

伝えるコーナー

知事 だより

vol.18

